

吉田彌平 よしだ やしひら 國語學・國文學者。明治二年常陸國河内郡柏田村生れ、昭和十一年十一月二十三日歿（八六—一九三七）。舊姓町田。號をみ、太古山人、太古山叟、太古生、柏陰（蔭）生。先城師範學校を卒業し、栗田寛の塾に学ぶ。明治二十七年高等師範學校卒。二十一年吉田家の婿養子となる（養母の亡夫は英學者吉田賢輔）。翌年高師教授、爾後女子國文讀本を全十卷、師範學校國文教科書を全十卷他各種教科書編纂に當る。また、關口が原著「むかしがたり」（編、大正五年十一月二十八日刊）、若池謙二郎編「幽谷全集」（昭和十年六月二十五日刊）を自費出版した。

『吉田竹里遺文集』（昭和十七年二月十五日吉田俊男編刊）がある。

吉田太古 文獻心、光風館編輯所編『漢學草』第六輯（昭和十二年一月一日光風館）の「吉田彌平先生追悼・吉田先生を憶ぶ」、東京文理科大學國語國文學會編『國語』第三卷第一號（昭和二年四月十五日里書店）の「持」吉田彌平先生追悼號」等。

